

# 令和2年度事業報告書

## 法人の名称 特定非営利活動法人WE 2 1 ジャパンひらつか

### 1. 事業の成果

- ①資源のリユース・リサイクルを推進する事業は、設立当初、市内でも数少ない事業でした。特定非営利活動の認知は社会状況があってより進んだ2020年度になっています。寄付から始まる社会貢献が定着していると感じる日々でした。リメイク活動の価値も毎年高まり、周知を喜ぶ市民に勇気づけられています。この年度は全世界で拡大した新型コロナウイルスに日常の暮らしを苦しめられることになりました。WE21 ジャパンひらつかは一時払底したマスク需要にリメイク活動でこたえました。終わりの見えないコロナ禍のなかで、WE 2 1 ジャパンひらつかがショップで提供できる手づくりマスクが大きな安心を生んでいると確信できる事業となっていました。
- ②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業を進めました。市民の力と市民の力を際立たせる活動を「民際協力事業」と呼び、昨年度よりさらに力を強めようとなりました。インドの西ベンガル州コルカタを中心に進める事業活動は現地インドでもコロナ禍の中で進めている報告が届き、心配と安心が交錯しています。毎年訪問して確認していたモニタリングもこの年度は実施不可能になりました。フィリピンのシキホール島での教育支援やアフガニスタンの識字教育支援など、継続する活動を心がけました。
- ③多文化共生を進めるための事業は、「みんな de Café」を湘南JRC主催の日本語学習支援教室の会場として提供してきました。元中学校の教員がボランティアでの活動を続けています。中学生だけでなく、日本に来て言葉に迷う少女たちが訪ねてくることもあり、緩やかにドアを開けて入れる場所になっていました。市内の西部地域での活動拠点でした。2020年8月末をもって「みんな de Café」を閉じる決断をし、日本語学習支援活動を終了しました。多文化共生活動の拠点として長年にわたって地域に開いてきた扉の一つを失くしてしまいましたが、この平塚で進めている活動の重要性を再確認した時間にもなりました。
- ④地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業は、市民、会員の関心が高くなっています。10年を超えたインドNGOのDRCSCとの民際協力事業を今年度もたゆまず継続できました。毎年支援地の西ベンガル州コルカタを訪ね、年に一度DRCSCメンバーが神奈川を訪れ報告会を開催、さらに平塚に迎えてホームステイも実施してきました。インドは遠い距離にあるけれど、近い活動地でもあると認知されてきました。コロナ禍でインドが苦しんでいる報道を知り、心を痛める市民がいることが確認できました。
- ⑤ この法人の事業の広報普及を図る事業は、ひらつか独自のブログを年間25回更新し、WEショップに足を運ばない市民から「読んでいる」の声も受けました。資源循環活動や民際支援協力を実感できると感想を得ています。ショップ内の各種の掲示に力を入れました。新型ウイルス対策を実施している掲示をすることでショップに来られる方から共感を得ることが出来ました。

### 2. 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ①資源のリユース・リサイクルを推進する事業

- ・内容 限りある資源の有効活用を広く市民に伝え、寄付品として提供を受け販売して収益を事業活動と支援事業に活用する。

- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11 - 30  
WEショップひらつか旭店・・・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 102
- ・従事者人員 延 1,814 名
- ・対象者 平塚市と近隣の市民
- ・支出額 8,433,188 円

#### ②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- ・内容 支援先のNGO、NPOの事業を共有して、互いに協力し合う民際支援協力活動を進めた。インド西ベンガル州を基点にするNGOのDRCSCや、NPO法人シェア＝国際保健協力市民の会、JVCが進めるアフガニスタンでの識字教育、NPO法人ジュマ・ネット、JIM-NET（日本・イラク医療支援ネットワーク）に継続して支援協力を進めた。「東日本大震災復興支援」も継続し、福島県を拠点に活動するNPO法人ザ・ピープルに支援した。国内の支援事業は西日本豪雨災害被災地への緊急募金活動も進めた。

- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11 - 30  
WEショップひらつか旭店・・・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 102
- ・従事者人員 12 名
- ・対象者 日本、インド、カンボジア、バングラデシュ、フィリピンの主に女性や子どもたち

と

シリア難民、アフガニスタンでの識字教育、フィリピンシキホール島の小中学校の子どもたちに文具や小楽器を送る活動及び、現地で入手しにくいマスクを 1000 枚贈ることができた。国内自然災害の被災者への支援協力

- ・支出額 548,190 円

#### ③多文化共生を進めるための事業

- ・内容 人権を擁護し、公正な市民社会を実現するために「みんな de café」を主な会場に、相互理解を深める市民のサポートを進めた。
- ・日時 みんな de Café での活動は 8 月 31 日までで終了した。
- ・場所 みんな de Café・・・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 101
- ・従事者人員 延 172 名
- ・対象者 平塚市と近隣の外国にルーツのある市民や地域市民
- ・支出額 2,699 円

#### ④地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（教育・共育事業）

- ・内容 WE21 ジャパンひらつかの会員と会員以外の市民を対象にNGOシェアが進めるカンボジアの母子保健活動報告会を開いた。
- ・日時 2020 年 10 月
- ・場所 WEショップ代官町店
- ・従事者人員 10 名
- ・対象者 一般市民
- ・支出額 3,074 円

#### ⑤ この法人の事業の広報普及を図る事業

- ・内容 ホームページ、WEひらつかブログの活用、ショップ内外の掲示等により情報提供を解りや

すく来店者、会員、市民へ発信した。

- ・日時 通年
- ・場所 ひらつか市民活動センター、広報担当理事の自宅
- ・従事者人員 4名
- ・対象者 会員、一般市民
- ・支出額 5,986円